

平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年11月5日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 ヨンキユウ

コード番号 9955 URL <http://www.yonkyu.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 笠岡 信夫

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 清水 敏雄

TEL 0895-24-0001

四半期報告書提出予定日 平成22年11月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第2四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	13,553	△5.1	151	—	255	—	410	—
22年3月期第2四半期	14,280	△18.6	△142	—	△29	—	△7	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	39.70	—
22年3月期第2四半期	△0.71	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第2四半期	19,779	17,217	87.0	1,717.06
22年3月期	19,406	17,091	88.1	1,636.50

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 17,217百万円 22年3月期 17,091百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	0.00	—	8.00	8.00
23年3月期	—	0.00	—	—	—
23年3月期(予想)	—	—	—	8.00	8.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,424	△6.3	32	—	136	—	78	—	7.47

(注)当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、[添付資料] 3頁「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 無

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 有

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	23年3月期2Q	11,556,084株	22年3月期	11,556,084株
② 期末自己株式数	23年3月期2Q	1,528,757株	22年3月期	1,112,054株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	23年3月期2Q	10,341,504株	22年3月期2Q	11,020,108株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提条件に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、[添付資料] 3頁「1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報」（3）連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. その他の情報 .....	3
(1) 重要な子会社の異動の概要 .....	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 .....	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(5) セグメント情報 .....	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9

※ 当社は、以下のとおり投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

・平成22年11月18日（木）・・・機関投資家、アナリスト向け決算説明会

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（平成22年4月1日～平成22年9月30日）におけるわが国経済は、各種経済政策の効果により景気は回復基調にあるものの、雇用・所得環境は引き続き厳しく、また、海外経済の減速懸念や長期化する円高の影響等もあり、依然として景気の先行きは不透明な状況が続いております。

また、当社グループを取り巻く養殖業界におきましても、養殖魚の総在池量の減少により魚価は高値基調で推移いたしました。消費低迷等の影響により経営環境は依然厳しい状況が続いております。

このような状況のなか、当社グループは引き続き経営の合理化や滞留債権の早期回収を進め、収益基盤の改善・強化に取り組んでまいりました。

しかし、出荷サイズとなる養殖魚の総在池量の減少と消費低迷等の影響により、「鮮魚」及び「餌料・飼料」の両事業で販売数量が減少し減収となりました。一方、利益面でも販売数量の減少に伴う売上総利益の減少と急激な浜値上昇（原材料高）の影響、更には、天然物の水揚げにより安価な天然ハマチ等が出回り、利益率が低下いたしました。

経費面では、経営の合理化等により販売費及び一般管理費が減少し、また、前第2四半期連結累計期間においては、貸倒引当金繰入額（1億64百万円）を計上しておりましたが、当第2四半期連結累計期間では、滞留債権の回収等により貸倒引当金の戻入が発生し、貸倒引当金戻入益（1億93百万円）を特別利益に計上することとなり、各利益は黒字を確保することができました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は135億53百万円（前年同期比5.1%減）、営業利益は1億51百万円（前第2四半期連結累計期間は、営業損失1億42百万円）、経常利益は2億55百万円（前第2四半期連結累計期間は、経常損失29百万円）、四半期純利益は4億10百万円（前第2四半期連結累計期間は、四半期純損失7百万円）となりました。

セグメントの業績は以下のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間から「セグメント情報等の開示に関する会計基準」等の適用により、適用初年度のセグメント情報ごとの対前年同期比較は要しないとされておりますが、当第2四半期連結累計期間も従来（前第2四半期連結累計期間）と同様のセグメント区分・構成であることから、ご参考までに対前年同期比較を記載しております。

区分	平成22年3月期 第2四半期金額 (百万円)	平成23年3月期 第2四半期金額 (百万円)	対前年同期比較			
			金額差異 (百万円)	増減率 (%)	数量差異 (トン)	価格差異 (円/1kg当り)
鮮魚の販売事業	10,159	9,626	△533	△5.3	△2,715	186.5
餌料・飼料の販売事業	4,009	3,820	△188	△4.7	△2,539	0.2
その他の事業	110	106	△4	△4.1	—	—
合計	14,280	13,553	△726	△5.1	—	—

(注) 1. 鮮魚の販売事業における対前年同期比較の「数量差異」及び「価格差異」は、鮮魚販売のみで集計・比較しており、単位の異なる稚魚及び人工ふ化稚魚の販売は除外しております。

2. セグメント間の取引については、相殺消去しております。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ3億72百万円増加の197億79百万円となりました。また、負債合計は、前連結会計年度末に比べ2億47百万円増加の25億61百万円、純資産合計は、前連結会計年度末に比べ1億25百万円増加の172億17百万円となり、この結果、自己資本比率は87.0%となりました。

尚、資産増加の主な要因については、短期貸付金（6億33百万円の減少）等の減少要因はあるものの、一方で、受取手形及び売掛金（6億65百万円の増加）、現金及び預金（5億49百万円の増加）等が増加したことによるものであります。

次に、当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ5億48百万円増加の59億89百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間の業績は概ね順調に推移し、予想を大幅に上回る四半期純利益を計上しておりますが、当社グループを取り巻く養殖業界の動向や市場環境、更には景気の先行きなどの見極めも現時点では困難な状況にあります。

そのため、平成23年3月期の通期連結業績予想につきましては、平成22年5月14日付の平成22年3月期決算短信及び平成22年8月6日付の第1四半期決算短信発表時に公表いたしました業績予想を変更していません。

なお、当第2四半期累計期間（連結・個別）の業績予想につきましては、本日（平成22年11月5日）公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

① 資産除去債務に関する会計基準の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これによる当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響はありません。

② 表示方法の変更（四半期連結損益計算書）

「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成20年12月26日）に基づく、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」（平成21年3月24日 内閣府令第5号）の適用により、当第2四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目で表示しております。

③ 追加情報

前連結会計年度（平成21年4月1日から平成22年3月31日）において、連結子会社「日振島アクアマリン有限責任事業組合」が決算日を2月末日から3月31日に変更しております。そのため、同組合の前第2四半期連結累計期間は、平成21年3月1日から平成21年8月31日までの6ヶ月間、当第2四半期連結累計期間は、平成22年4月1日から平成22年9月30日までの6ヶ月間となっております。

但し、前第2四半期連結累計期間においては、9月1日から連結決算日9月30日までの期間に発生した重要な取引については、連結上必要な調整を行っております。

これによる当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	11,800,469	11,250,843
受取手形及び売掛金	4,588,422	3,923,034
有価証券	—	100,882
商品及び製品	249,392	385,675
仕掛品	43,053	145,809
貯蔵品	14,841	11,821
短期貸付金	980,306	1,613,676
その他	63,373	82,842
貸倒引当金	△918,381	△1,115,650
流動資産合計	16,821,476	16,398,935
固定資産		
有形固定資産	1,767,595	1,727,505
無形固定資産	4,036	4,964
投資その他の資産		
その他	1,474,830	1,917,731
貸倒引当金	△288,617	△642,721
投資その他の資産合計	1,186,212	1,275,010
固定資産合計	2,957,843	3,007,480
資産合計	19,779,320	19,406,416
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,793,902	1,477,315
未払法人税等	14,627	208
繰延税金負債	—	66
賞与引当金	6,759	9,134
その他	256,966	323,597
流動負債合計	2,072,255	1,810,322
固定負債		
繰延税金負債	—	14,978
退職給付引当金	140,436	137,199
役員退職慰労引当金	349,042	352,186
固定負債合計	489,479	504,364
負債合計	2,561,734	2,314,687

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,187,615	2,187,615
資本剰余金	2,521,825	2,521,825
利益剰余金	13,281,165	12,954,172
自己株式	△747,933	△595,376
株主資本合計	17,242,672	17,068,236
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△25,105	23,464
評価・換算差額等合計	△25,105	23,464
少数株主持分	18	28
純資産合計	17,217,585	17,091,729
負債純資産合計	19,779,320	19,406,416

(2) 四半期連結損益計算書  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)
売上高	14,280,394	13,553,501
売上原価	12,600,318	12,109,842
売上総利益	1,680,075	1,443,658
販売費及び一般管理費	1,822,863	1,291,858
営業利益又は営業損失(△)	△142,787	151,800
営業外収益		
受取利息	77,910	62,002
受取配当金	3,102	2,814
投資不動産賃貸料	33,008	32,971
その他	42,899	31,006
営業外収益合計	156,921	128,795
営業外費用		
支払利息	1,644	—
投資不動産賃貸費用	13,810	12,261
投資事業組合運用損	23,965	8,815
その他	4,464	4,481
営業外費用合計	43,885	25,558
経常利益又は経常損失(△)	△29,751	255,036
特別利益		
固定資産売却益	3	612
貸倒引当金戻入額	40,692	193,197
特別利益合計	40,695	193,810
特別損失		
固定資産売却損	317	—
固定資産除却損	1,370	191
投資有価証券評価損	9,230	28,812
減損損失	2,613	—
特別損失合計	13,530	29,003
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△2,586	419,843
法人税、住民税及び事業税	5,184	9,296
法人税等調整額	—	—
法人税等合計	5,184	9,296
少数株主損益調整前四半期純利益	—	410,547
少数株主損失(△)	△0	△10
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△7,770	410,557



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△2,586	419,843
減価償却費	66,531	62,216
減損損失	2,613	—
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△11,455	3,237
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△309,254	△3,144
賞与引当金の増減額(△は減少)	△11,150	△2,375
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△275,507	△551,372
受取利息及び受取配当金	△81,013	△64,817
支払利息	1,644	—
固定資産売却損益(△は益)	313	△612
固定資産除却損	1,370	191
投資有価証券評価損益(△は益)	9,230	28,812
投資不動産賃貸収入	△33,008	△32,971
投資不動産賃貸費用	13,810	12,261
売上債権の増減額(△は増加)	238,316	281,019
たな卸資産の増減額(△は増加)	111,185	236,019
仕入債務の増減額(△は減少)	369,193	316,586
未払消費税等の増減額(△は減少)	17,590	41,532
その他	△13,461	△98,152
小計	94,361	648,274
利息及び配当金の受取額	70,575	50,085
利息の支払額	△1,644	—
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△57,259	29,651
営業活動によるキャッシュ・フロー	106,032	728,011
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の増減額(△は増加)	△600	△700
有価証券の償還による収入	200,000	100,000
投資有価証券の取得による支出	△3,720	△3,723
有形固定資産の取得による支出	△51,350	△128,451
有形固定資産の売却による収入	934	952
投資不動産の賃貸による収入	33,008	32,971
投資不動産の賃貸による支出	△7,667	△6,268
貸付けによる支出	△310,084	△235,497
貸付金の回収による収入	375,064	276,750
その他	306,017	24,758
投資活動によるキャッシュ・フロー	541,601	60,789
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	△25	△152,593
自己株式の売却による収入	—	25
配当金の支払額	△87,517	△83,208
財務活動によるキャッシュ・フロー	△87,542	△235,777
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3,138	△4,097
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	556,954	548,925
現金及び現金同等物の期首残高	5,908,859	5,440,543
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,465,813	5,989,469

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日）

	鮮魚の販売 事業 (千円)	餌料・飼料 の販売事業 (千円)	その他の事 業 (千円)	計 (千円)	消去又は全 社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	10,159,924	4,009,803	110,666	14,280,394	—	14,280,394
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	1,699	124,304	126,003	(126,003)	—
計	10,159,924	4,011,503	234,970	14,406,398	(126,003)	14,280,394
営業利益又は営業損失(△)	△414,355	260,938	5,808	△147,607	4,820	△142,787

(注) 1. 事業区分は、当社及び連結子会社が行う事業の類似性を考慮して決定しております。

2. 各区分に属する主要な品目は次のとおりであります。

部門	主要品目
鮮魚の販売事業	タイ、ハマチ、カンパチ、雑魚（天然魚含む）、稚魚、人工ふ化稚魚、加工品
餌料・飼料の販売事業	生餌、配合飼料、モイストペレット等
その他の事業	一般貨物運送事業、マグロ養殖事業

3. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

4. 会計方針の変更及び追加情報

該当事項はありません。

[所在地別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日）

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店はないため、該当事項はありません。

[海外売上高]

前第2四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日）

海外売上高がないため、該当事項はありません。

[セグメント情報]

1. 報告セグメントの概要

当第2四半期連結累計期間（自平成22年4月1日至平成22年9月30日）

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、養殖漁業の総合支援事業を展開しており、当該セグメントは、その取り扱う製品・サービス別のセグメントから構成し、「鮮魚の販売事業」及び「餌料・飼料の販売事業」の2つを報告セグメントとしております。

なお、各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類は以下のとおりであります。

- ・「鮮魚の販売事業」は、主にタイ、ハマチ、カンパチ、雑魚（天然魚含む）、稚魚、人工ふ化稚魚、加工品の販売であります。
- ・「餌料・飼料の販売事業」は、主に生餌、配合飼料、モイストペレット等の販売であります。
- ・「その他」は、連結子会社の事業（一般貨物運送事業及びマグロ養殖事業）であります。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第2四半期連結累計期間（自平成22年4月1日至平成22年9月30日）

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	鮮魚の販売 事業	餌料・飼料 の販売事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	9,626,488	3,820,924	13,447,412	106,089	13,553,501	—	13,553,501
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,833	65,632	69,466	95,162	164,628	△164,628	—
計	9,630,321	3,886,557	13,516,878	201,252	13,718,130	△164,628	13,553,501
セグメント利益又は 損失(△)	△263,474	409,375	145,901	△3,144	142,757	9,042	151,800

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、連結子会社の事業（一般貨物運送事業及びマグロ養殖事業）であります。

2. セグメント利益の調整額9,042千円には、セグメント間取引消去における内部利益△872千円及びその他の調整額9,915千円が含まれております。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
4. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第2四半期連結累計期間（自平成22年4月1日至平成22年9月30日）

固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動、重要な負ののれん発生益の認識はありません。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号平成20年3月21日）を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。